

独立行政法人 日本高速道路保有・債務返済機構が発行する 「ソーシャルボンド」への投資について



京都銀行（頭取 安井 幹也）は、独立行政法人 日本高速道路保有・債務返済機構が発行するソーシャルボンドへの投資を実施しましたのでお知らせいたします。

ソーシャルボンドは、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）に資金使途を限定して発行される債券です。

同社は2022年3月に「ソーシャル・ファイナンス・フレームワーク」を策定し、格付投資情報センター（R&I）から、国際資本市場協会（ICMA）が定義する「ソーシャルボンド原則2021」および金融庁が定義する「ソーシャルボンド・ガイドライン」等に適合する旨のセカンドオピニオンを取得しています。

本債券発行による調達資金は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献する高速道路建設等事業に充当されます。

当行では、今後もこのような事業活動を通じて環境・社会・経済の課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

<本債券の概要>

銘柄	第326回 日本高速道路保有・債務返済機構債券（ソーシャルボンド）
年限	5年
発行額	200億円
発行日	2024年4月25日
充当事業	以下の道路建設等事業へ充当 ・高速道路の新設および改築 ・高速道路の修繕および災害復旧 ・高速道路の特定更新 等

以上

京都フィナンシャルグループでは、「地域社会の繁栄に奉仕する～地域の成長を牽引し、ともに未来を創造する～」という経営理念に基づいた企業活動を行っております。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにSDGsの目標のアイコンを明示しております。

